

# 県有施設の維持管理業務委託実態調査結果概要(平成15年度)

0 調査対象 平成15年度の施設にかかる業務委託  
256施設(知事部局、教育庁、警察本部の全施設および公社等の24施設)

1 契約概要

2,664件	総額契約 2,499件 契約金額 3,386百万円	単価契約 165件
--------	------------------------------	-----------

ベンチマーク

一施設あたり平均値	契約件数 10.4件
	契約金額 13,280千円
一契約あたり平均値	契約金額 1,355千円

業種	件数
除排雪	86
廃棄物処理	74
清掃	2
警備	2
受付	1

## 2 金額別概要 分布

金額(千円)	~100	~500	~1,000	~5,000	~10,000	~36,000	36,000超
件数	640	1,081	308	329	73	59	9
構成比	25.6%	43.3%	12.3%	13.2%	2.9%	2.4%	0.4%

傾向 100千円以下で4分の1、500千円以下では7割を占める  
契約金額の中央値は、245千円

### 発注別件数内訳

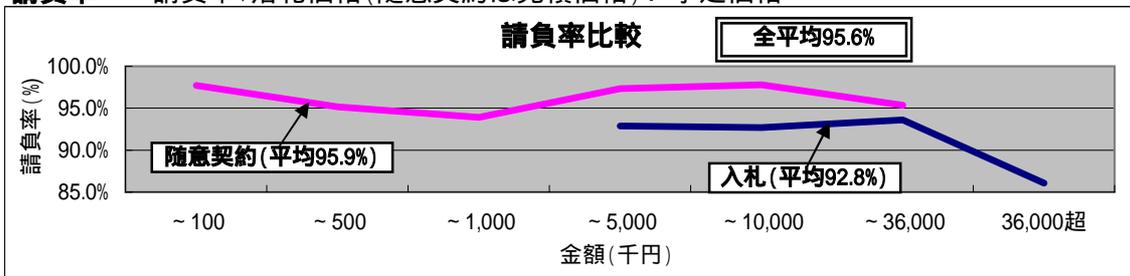
金額(千円)	~100	~500	~1,000	~5,000	~10,000	~36,000	36,000超
入札(計280)	0	0	1	165	55	51	8
随契(計2,219)	640	1,081	307	164	18	8	1

傾向 入札は5百万円以下が6割を占める  
随意契約は100~500千円が半数を占める  
1~5百万円では、入札と随意契約がほぼ同じ件数  
1百万円を超える随意契約の業種は、警備が多い

1百万円を超える随意契約(191件)

業種	件数
警備	88
暖冷房	29
特殊設備	15
ほか...	59

請負率 請負率: 落札価格(随意契約は見積価格) / 予定価格



傾向 金額が上がると請負率は下がる傾向がある  
請負率の平均値比較では、入札がやや低い  
1百万円を超える随意契約(一者随契)は請負率が高めになっている

## 3 群管理の概要

### 施設群管理の事例(複数施設の一括契約)

機関名	委託業務	対象施設
学校施設課	受変電(自家用電気工作物)	103施設(教育庁舎、県立学校ほか)
会計課	清掃	5施設(警察本部、交通管制センターほか)
会計課	暖冷房/給排水 保守・点検	14施設(警察本部、港町分庁舎ほか)
蟹田警察署	浄化槽 保守・点検	4施設(蟹田署140人槽、中師20人槽ほか)

### 業種群管理の事例(複数業務の一括契約)

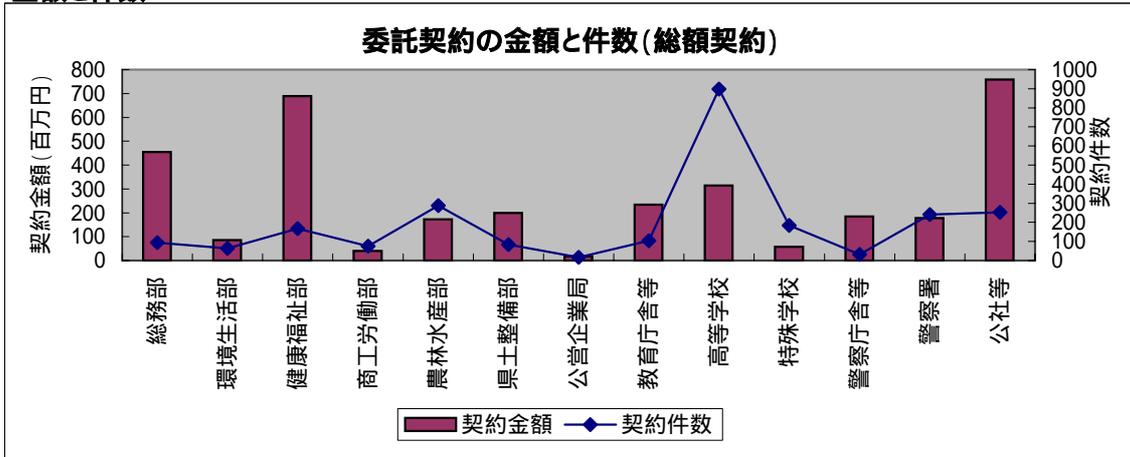
印の委託業務を一括

機関名	清掃/廃棄	警備	受付等	環境/防除	植栽	消防	電気	ホイ運転	給排水	浄化槽	昇降機	特殊設備
八戸合同庁舎												
十和田合同庁舎												
むつ合同庁舎												
県営浅虫水族館												

# 県有施設の維持管理業務委託実態調査結果概要(平成15年度)

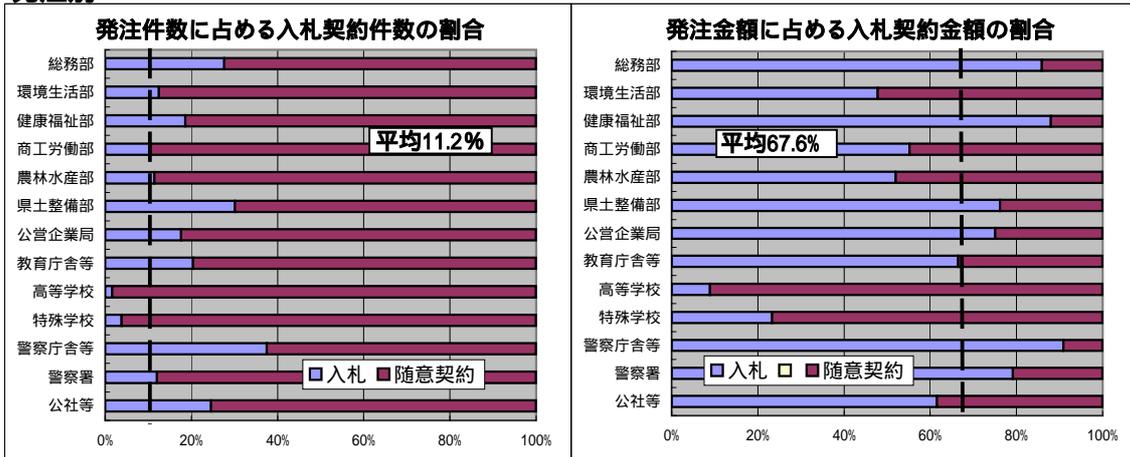
## 4 部局別概要

### 金額と件数



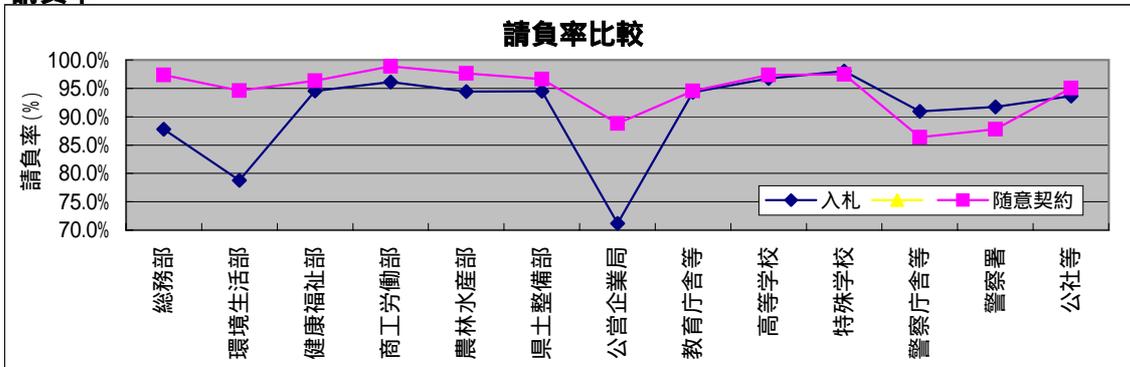
**傾向** 警察庁舎>総務部>健康福祉部>大 契約規模 小 農林水産部>商工労働部>学校  
 契約件数の半分は教育庁  
 契約金額の半分は知事部局

### 発注別



**傾向** 随意契約は件数の割合が高く、入札は金額の割合が高い  
 しかし、学校は、件数、金額ともに随意契約が占める割合が高い

### 請負率

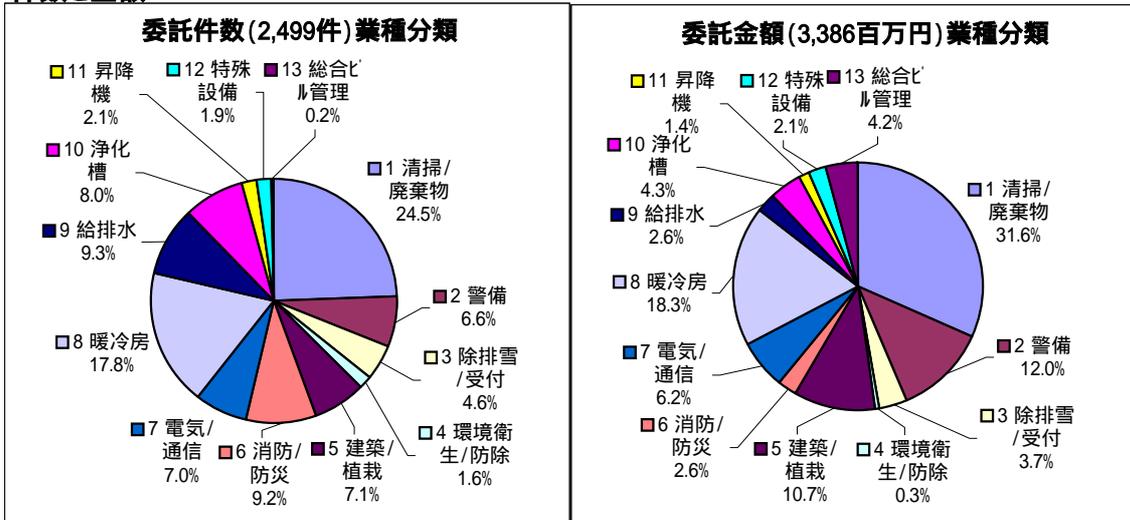


**傾向** 公営企業局は、落札率が入札、随意契約ともに低い  
 商工労働部、学校は、入札の請負率が随意契約の平均を上回っている  
 警察庁舎等、警察署は、随意契約の請負率が低く入札を下回っている

# 県有施設の維持管理業務委託実態調査結果概要(平成15年度)

## 5 業種別概要

### 件数と金額



### 業種別ランキング

	件数	金額
第1位	清掃/廃棄物 613件	清掃/廃棄物 1,072百万円
第2位	暖冷房 運転・点検・保守 446件	暖冷房 運転・点検・保守 622百万円
第3位	給排水 点検・保守 232件	警備 408百万円

**傾向** 清掃/廃棄物は、件数で4分の1、金額で3割を占める  
設備関連をあわせると、件数で半数、金額で4割を占める

### 清掃業務

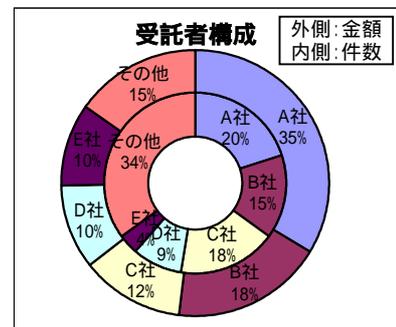
#### 清掃業務の委託時期

委託期間	通年	短期				計
		夏季休暇	冬季休暇	年度末	その他	
件数	143	13	20	212	37	425
金額(千円)	949,389	1,556	3,892	64,911	8,741	1,028,489

**傾向** 件数は、短期が3分の2、年度末が半数を占める  
金額は、通年契約が9割を占める  
短期の発注機関は、ほとんどが学校である

### 青森市内受託金額トップ5

順位	受託者	受託金額(千円)	受託件数	部局別内訳			
				知事	教育	警察	公社
1	A社	223,063	16	2	12	2	
2	B社	122,596	12	7	3		2
3	C社	82,794	14	5	7	1	1
4	D社	68,159	7	5		1	1
5	E社	66,654	3	2	1		
...	その他	101,539	28	11	17		
	計	664,804	80	32	40	4	4



**傾向** 金額は、上位2社で半分、4社で4分の3のシェア  
上位は、大規模施設を受託している  
件数は、上位3社で半数を超える

### 清掃委託仕様と積算

**傾向** 同一部局内の施設間では、類似の仕様書及び積算方法としている場合が比較的多い  
部局間では、仕様書及び積算方法が不統一である

# 県有施設の維持管理業務委託実態調査結果概要(平成15年度)

## <施設管理担当者の概要>

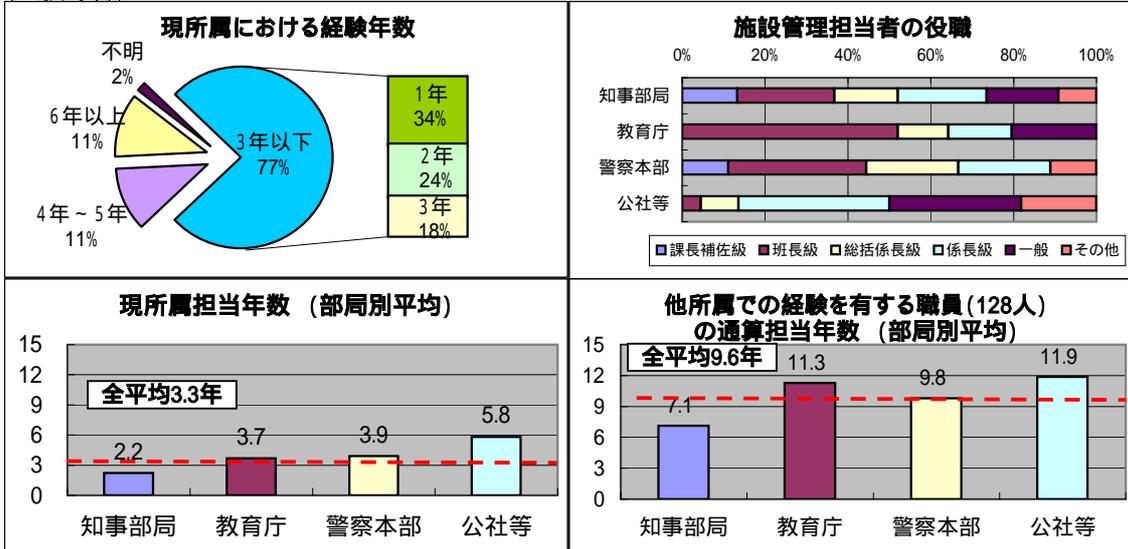
### 属性

職種別			男女別		計
事務系	技術系	その他	男性	女性	
228	15	2	192	53	246

### 特性

事務職が多く、特定の職員に固定される傾向が比較的強い

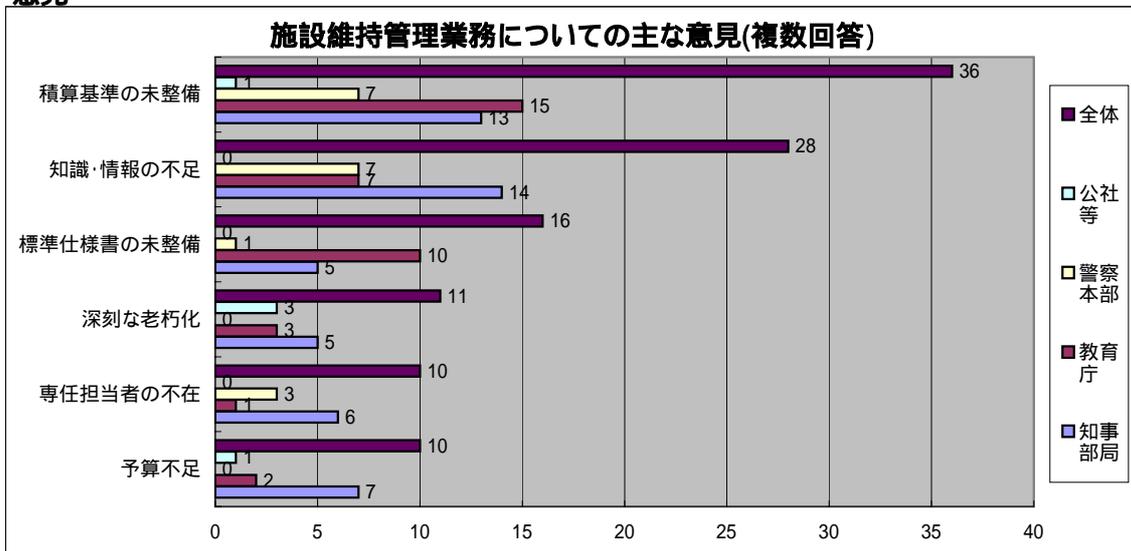
### 経験年数



### 傾向

現所属では、3年以下が4分の3、1年が全体の3分の1となっている  
 班長級が3分の1を占める  
 担当者の半数が過去に他所属での経験を有し、通算6年以上が7割を占める  
 公社等は、現所属、通算ともに経験年数が長い

### 意見



### 代表的な意見

予定価格を作成する積算基準が定かでないため、前年踏襲か業者見積どおりとせざるを得ない  
 施設維持管理業務についての知識、情報に乏しく、適正な維持管理について不安がある  
 適正な維持管理を行うには、業務レベルについての標準的な仕様が必要である  
 施設の老朽化が進み、維持管理が困難になってきている  
 適正な施設維持管理のために、専門的な知識を有する専任担当者の配置が必要である  
 適正な維持管理をしようにも、予算が年々削減されており、対応が困難になっている